

オープンセミナー「アートから地域を考える」

文化庁では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、文化力による地域活性化を推進するプロデューサー人材を育成する「プロジェクトスクール@3331」を東京で開催します。今年度は、地方での取り組みとして、新潟市および秋田県大館市、宮城県釜石市でも、スクール受講者による「地域合宿ワークショップ」が開催される予定です。

新潟市では、来年度に「水と土の芸術祭2018」を控え、多くの市民プロジェクトが進められています。「地域合宿ワークショップ」で市内で活躍する人材とスクール受講生と一緒に議論し、活動することで、新たな視点からの展開が期待されます。

スクールを運営するコマンドNから、アーティストによる地域づくりを実践されている中村政人氏をお迎えし、「プロジェクトスクール」をご紹介いただき、オープントークでは、地域を変える新しいアートプロジェクト、そして地域の拠点づくりのあり方など、様々な視点から展開していきます。

市民プロジェクトを担う皆さま、これから地域づくりをしてみたい方、ぜひご参加ください。

日時 2017年 6月17日(土)14:00-17:00

場所 旧第四銀行住吉町支店 日本間

(新潟県新潟市中央区柳島町2-10 みなとびあ敷地内)

参加費無料 定員40名(先着順、要申込)

主催:文化庁、(一社)コマンドN

共催:アーツカウンシル新潟(公益財団法人新潟市芸術文化振興財団)



プログラム

「平成29年度プロジェクトスクール@3331」の紹介 中村政人氏

市内事例紹介「南区・天昌堂の取り組み」 本間智美氏

オープントーク 「アートから地域を考える」

中村政人 アーティスト、東京藝術大学美術学部教授

1963年秋田県大館市生まれ。東京藝術大学教授。「社会」や「教育」における美術の在り方を問いかけ、地域に活動の場としくみを生み出す実践を重ねるアーティスト。第49回ヴェネツィア・ビエンナーレ(2002年)日本代表。1998年よりアーティスト・イニシアティブ・コマンドNを主宰。2005年、アートスペース「KANDADA」(神田)での活動を経て、2010年に「3331 Arts Chiyoda」を立ち上げる。2011年6月、東日本大震災復興支援「わわプロジェクト」を始動。2010年度芸術選奨文部科学大臣新人賞(芸術振興部門)受賞。2012年より東京・神田のまちの創造力を高めるプロジェクト「TRANS ARTS TOKYO」を始動。



本間智美 建築士、デザイナー、プロデューサー

新潟市南区出身・同在住。想いを引き出し・育むことに重きを置き、建築デザイン、コミュニティデザイン、まちづくり、商品企画など、多岐に渡る領域で活動中。また、重要文化財旧笹川家住宅のイベント企画運営、水と土の芸術祭での地域連携・多分野連携の取り組みなど、行政との協働をはかりながら、地域住民とのパイプ役も担う。みなみらいプロジェクト代表/ARTABLE代表/水と土の芸術祭 2015副実行委員長を歴任。



モデレーター **杉浦幹男** アーツカウンシル新潟プログラムディレクター

<お申込み方法> 氏名・電話番号・メールアドレスを記載の上、FAXかメールでお申込みください。Facebookからもお申込みいただけます。FAX:045-234-4521 メール:artscouncil@niigata.email.ne.jp  <https://www.facebook.com/arts.niigata>

<お問い合わせ> TEL:025-234-4530(アーツカウンシル新潟)